

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

かつてわが国のプロスポーツは、現在のように世界的に注目を集めるまで育っていませんでした。しかし、近年日本のプロ野球選手がアメリカのメジャーリーグに移籍して活躍し、さらにJリーグなどでプレーした日本人選手がヨーロッパのプロサッカーリーグで活躍するなど、日本のプロスポーツも世界的に注目されるようになってきました。そこで、本演習では「スポーツビジネスを考える」を基本テーマとして、特にプロ野球・プロサッカーにおけるスポーツビジネスの現状と問題点を明らかにした上で、わが国における今後のプロスポーツビジネスのあり方について考察します。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。最終的には、各自が作成したレポートについて発表してもらいます。実施方法の詳細については、初回授業で案内します。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、授業の進め方等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	研究テーマの検討	各自が研究テーマを設定する。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究テーマに関する研究(1)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究テーマに関する研究(2)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究テーマに関する研究(3)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究テーマに関する研究(4)	収集した文献・資料・データについて分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究テーマに関する研究(5)	収集した文献・資料・データについて分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第8回	研究テーマに関する研究(6)	分析結果について、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究テーマに関する研究(7)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第10回	研究テーマに関する研究(8)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第11回	研究テーマに関する研究(9)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第12回	レポート報告(1)	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第13回	レポート報告(2)	各自が作成したレポートの報告をし、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表	演習発表会で研究発表をする。	<input type="checkbox"/>
第15回	総括	本演習の総括をした上で、「専門演習III」「専門演習IV」の卒業研究(卒業レポート)に関する案内をする。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習(予習)として、文献・資料・データ収集などの調べ学習をする(毎回2時間程度)。また事後学習(復習)として、前回の授業の振り返りをする(毎回2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題・レポート・レポート報告については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	スポーツビジネスを社会全体との関連で幅広く考察し、今後のスポーツビジネスのあり方などについて、他者に自分の考えを発信することができる。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	スポーツビジネスに関する様々な問題点を解決するなど、主体的に他者と協働して地域社会の活性化・発展に貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
提出された課題・レポートを【授業内試験】の成績として評価(70点満点)し、授業参加・貢献度(グループワーク・ディスカッション・レポート報告など)を【その他】の成績として評価(30点満点)します。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石川幸生・杉谷正次編著『現代スポーツビジネス』三恵社	
2	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	
3		
4		
5		